

『平成 30 年初めての講座衛門通信じゃな。今年もよろしく頼むぞ。さて、年初めに紹介しようと思  
っているのは、忍野八海のそれぞれの池に祀られている祭神・八大竜王の話じゃ。八大竜王は、「法  
華経」というお経の序品に、お釈迦様に仕える天竜八部衆に属する竜族の八王と書かれているんじ  
ゃよ。また、一番出口池の祭神である難蛇(ナンダ)竜王と、二番お釜池の祭神である跋難蛇(ウパナ  
ンダ)竜王は兄弟なんじゃ。これも法華経に書かれておるんじゃよ。』

『「法華経」は、たくさんあるお経の中でもその内容を理解するのは難しいと聞くでまっすん。』

『そうなんじゃよ。けれども、なぜ?忍野八海に八大竜王が祀られているのか知りたいと思う人も  
多いと思うんじゃ。また、八大竜王のご利益を知りたいと思っている人もいるんじゃないかのう・・・  
そこで、わしも気合を入れて調べることにしたんじゃよ。』

『難蛇竜王と跋難蛇竜王は兄弟で、常に国を守り、適当な時節に雨を降らせて百姓を喜ばせる竜王  
なんじゃ。難蛇竜王はサンスクリット語で「歓喜」という意味でな、跋難蛇竜王は、サンスクリッ  
ト語で「善歓喜」という意味なんじゃ。また、変じて人間となり仏の説法を説く竜王なんじゃよ。』

『三番底抜池の祭神は娑加羅(シャガラ)竜王でまっすん。サンスクリット語では「海」という意  
味で竜宮の王でまっすん。干天の時雨を降らせてくれる竜王で多く信仰を集めた竜王でまっすん。』

『娑加羅竜王には娘がいるんじゃよ。この娘は法華経の竜女利益に書かれておってな、智積(ちし  
やく)菩薩が文殊師利に質問したんじゃ。法華経は諸々のお経の中の宝である・・・とな。法華経を  
会得したならば、仏になれるだろうか?とな。その時、文殊師利は、娑加羅竜王の 8 歳の娘の話  
をしたんじゃ。竜女は、瞬く間に様々な仏典を理解して、仏道修行を怠らず励み退かすないと決意し  
その信念を曲げず修行に励んだんじゃ。この話を聞いた智積菩薩は、そのような話はとても信じら  
れない・・・とな。しかし、竜女は、智積菩薩や文殊師利と問答し最後には、菩薩になったんじゃよ。  
これの意味するところは非常に深いんじゃが、説明が難しいので興味も持った人は法華経を調べて  
ほしいのう・・・この竜女を「善女竜王」として祀る神社もあるんじゃよ。』

『竜王について調べるだけでも、とても深いでまっすん。また、八大竜王はそれぞれに、何百また  
は何千という眷属(けんぞく)「従者」がいると言われているでまっすん。それぞれの池に祀られる

竜王にお参りしたなら、どれほど  
のご利益があるのか計り知れないで  
まっすん。お参りをしなければ、勿  
体ないでまっすん。』

『そうなんじゃよ。調べるほどに、  
忍野八海は巡るだけでどれほど  
のご利益があるか分からないんじゃ。  
次回は、四番銚子池から、八番菖蒲  
池までの竜王の話をしたいのう・・・』

『すぐに忍野八海を巡って、八大竜  
王をお参りしたくなっただまっす  
ん。次回も楽しみでまっすん。』

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

口癖 でまっすん・・・



ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳

職業 大我講の先達

(先達とは案内責任者)

